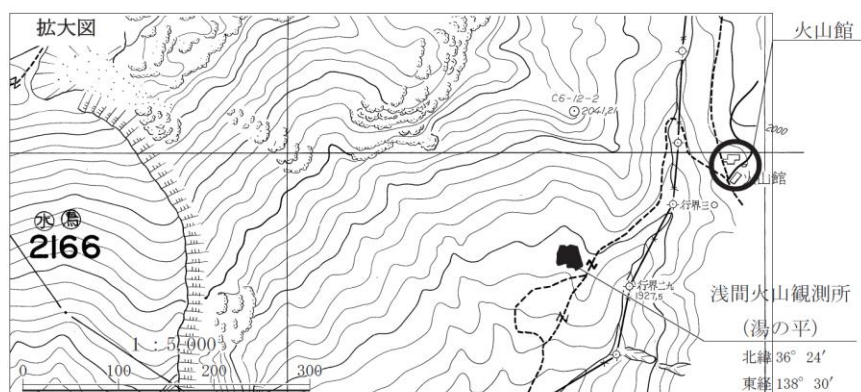
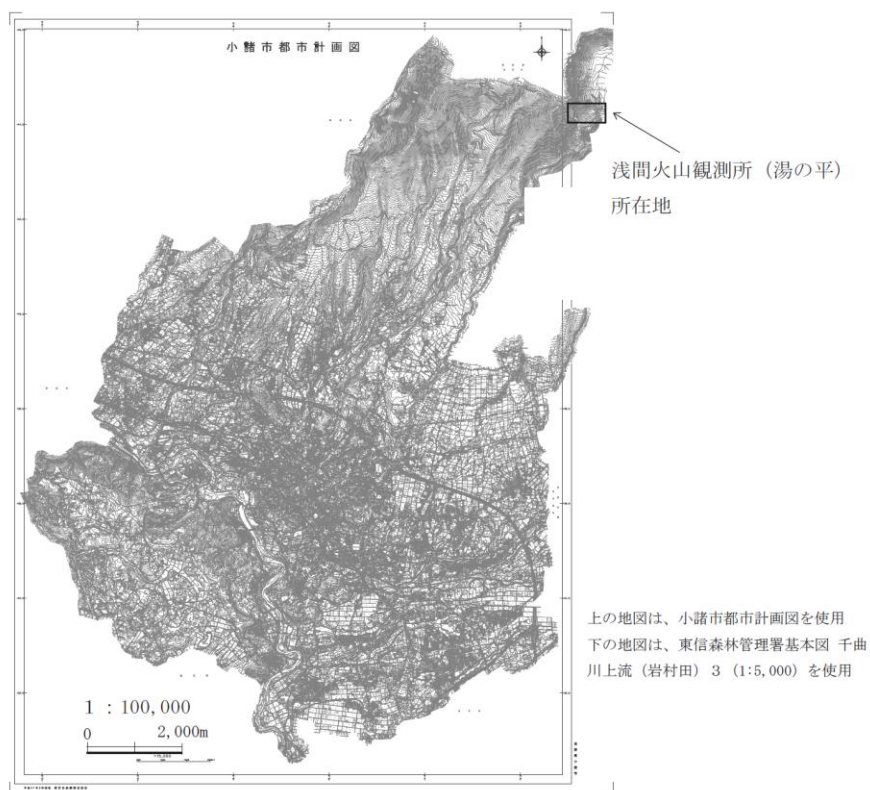


## 1 浅間火山観測所（湯の平）跡の概要

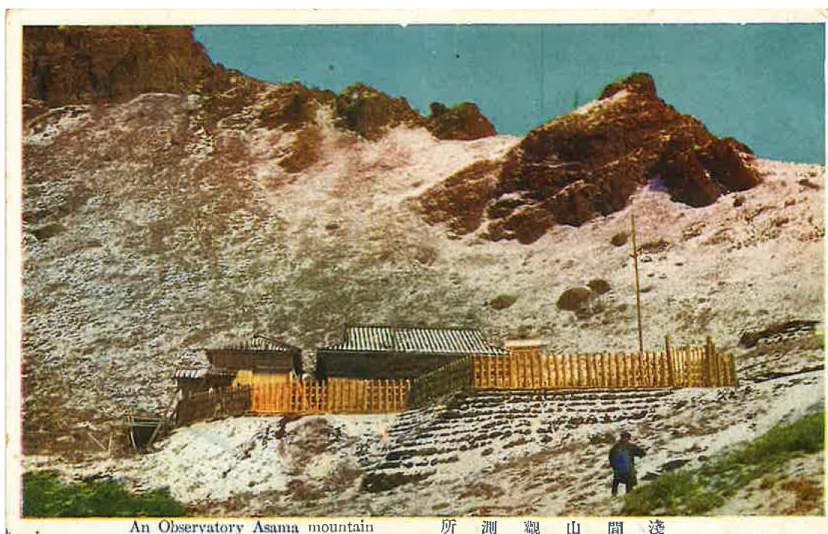
浅間火山観測所（湯の平）は、1911(明治 44)年に、長野県により建設された火山観測所です。我が国最初の火山観測を主任務とする観測所で、1911(明治 44)年 8 月 26 日に地震計を据え付け観測開始、1929(昭和 4)年に観測を中止、1947(昭和 22)年に浅間山噴火による火災のため建物は焼失しました。

『火山観測を主任務とする火山観測所としては我が国最初の観測所であること。』『浅間火山観測所（湯の平）における地震計による常時観測を足がかりに、火山災害を軽減するための火山監視と火山現象の本質を究明するための基礎研究という、現代へ続く近代的な火山観測の第一歩が踏み出されたこと。つまり、この時より始まる地震計を用いた連続的で近代的な火山観測手法が精度を高めながら現在まで受け継がれてきていること。』に文化財としての価値があります。

## 2 位置図



### 3 当時の状況



- ・ 絵葉書 観測所の外景写真が絵葉書になっています。

### 4 現在



- ・ 敷地全景写真 建物は焼失しましたが、地震計台跡、礎石、百葉箱跡等が残っています。



- ・ 地震計台跡